

【市民の要望を受けJAで農園開設】～ 大分県大分市 ～

1 市民農園名

曲ふれあい市民農園(大分市曲地区)

2 地区の概要

曲地区が位置する滝尾地域は大分市の中心部に位置しており、近隣の住宅団地から車で10分程度とアクセスは良好である。

同地区では柑橘類と水稻栽培を主体に農業経営が行われてきたが、市内中心部から近いこともあり、最近では宅地化が進んでいる。



曲ふれあい市民農園

3 市民農園開設の経緯

もともと大分市内では市民農園開設の要望が強く、同市では開設に活用可能な事業を予算措置し、開設を促進していた。

このため、地元JA(現JAおおいた)では「農とのふれあいの場」の提供を目的に、既に市内2地区で市民農園を開設していたが、より市内中心部からアクセスが容易で区画数の多い農園開設の検討が進められていた。

その後、農園整備に必要なまとまった農地の所有者が見つかり、交渉の結果農園整備の同意も得られたため、平成12年にJAおおいたとしては市内で3番目となる「曲ふれあい市民農園」が開設された。



市民農園看板



休憩場所

4 施設概要

- 所在地 大分市大字曲字前田
134-1、148-1
- 施設総面積 7,352㎡
- 区画面積 1区画当たり 24㎡
- 区画数 178区画
- 利用料金 7,776円/年間
- その他
駐車場、トイレ、農作業小屋、水道(井戸)
契約期間1年(更新可能)



イチゴ栽培区画

5 管理・運営等

管理運営主体：JAおおいた(大分県農協)中西部事業部

6 農園の特徴

- 開設から16年が経過しているが、現時点で空き区画はなく利用申込みがあっても断らざる得ない状況である。農園近隣に住宅団地があること、市内中心部からもアクセスが良好であること、幹線道路沿いに位置しており農園を見つけやすいこと等が要因と考えられている。
- 農園内の草刈りを年3回(春、夏、秋)にJA職員自ら実施している。夏場は苦情がくることが多く、その都度草刈りを実施している。
- 新規農園利用者のために連作障害の対処の仕方や土作りなど、栽培に関する指導を行っている。
- 利用者が退園した際は、区画を現状復旧するよう利用規約に記載しているが、新たな利用者の予定が入った段階で、整備(耕耘作業等)を行って次の者に引き渡している。
- もともと水田を農園としているため、大雨時の時などに農園内に水があふれないよう、農園周囲の側溝掃除などの管理を定期的に行っている。



利用者のための農機具



農機具倉庫

7 イベント・交流活動等

以前は菜園コンクール(栽培や管理状況の良さを競う)や栽培講習会が実施されていたが、利用者間の交流が盛んであること、現時点では農園管理業務に主体をおいていることなどから、近年ではイベント等の交流活動は実施されていない。

8 施設設置効果

定年退職後の夫婦や主婦が、野菜作りや土とのふれあいを通じて利用者間の交流を楽しんでいる。

農園に隣接する農地の所有者が、農園に隣接する畦畔管理等を行ってくれるなど、付近の農地管理にもよい影響が出ている。

9 今後の課題・問題点等

- 収穫後の残渣の処理が適切にされないケースがある。やむを得ずJA職員が市の処分場まで運ぶこともあり、利用者のマナー向上が必要。
- 曲ふれあい農園以外のJA開設農園利用者から鳥獣害対策(イノシシ)の依頼があり、柵を設置している。
- 「管理機や鍬などの備品を農園に置いて欲しい」との意見があるが、故障した際の対応や盗難等、管理上の課題があるため実現に至っていない。
- 空区画が出た場合は防草シートを張り除草作業の簡略化を図っているが、園内全域での実施は予算的に困難な状況となっている。

【問い合わせ先】

JAおおいた中西部事業部農畜産課 電話 097-546-1117
<http://www.jaoita.net/ja-oita.html>